

クラシック音楽謎解きミステリー

音楽探偵

バッハの事件録

鍵の掛かった箱とショパン



STORY ~物語~

クラシック音楽にまつわる謎や事件を専門に扱う音楽探偵バッハ。
ある日、人気のファッションデザイナー・村上香織が事務所を訪れてきた。
彼女は鍵の掛かった小さな箱を取り出すと、依頼を口にする。

「この箱を開けて欲しいのです」

どうやら、彼女の恋人であるピアニストの星野誠司が
その箱を残して姿を消したらしい。箱の隙間にはメモがはさんであり、
何やら意味不明な数字が書かれている。

これは別れのメッセージか？それとも他の意味が？

そして、箱の中には一体何が入っているのか？

音楽探偵バッハの謎解きが始まる…。

美しいショパンの旋律をバックに展開される、謎解きミステリー。

クラシック音楽 × 演劇 × 謎解き

新感覚の謎解き付きコンサート！



「音楽探偵バッハ」は観客の皆さんが参加して謎を解き明かす“謎解き”と“演劇”そして“コンサート”の魅力が詰まった、一粒で三度おいしいイベントです。

謎のテーマは、ずばり“ピアノの詩人”ショパン。名曲の数々が散りばめられたストーリーが進むにつれ浮かび上がる謎。皆さんには、ヒントを手掛かりに謎解きに挑戦していただきます。

後半、バッハ探偵による答え合わせの後に改めて聴くショパンは、さらに興味深くなっているに違いありません。クラシック音楽を全く新しい感覚で楽しめる「音楽探偵バッハ」。

ぜひご家族や友達同士で、ショパンの謎にトライしてみてください。

公演の内容

第1部

物語の進行と共に現れる、ショパンが絡んだ謎…。

謎解きタイム

頭をフル回転させて謎を解こう！

第2部

バッハ探偵による答え合わせ、そして物語はクライマックスへ。

ミニコンサート

物語の余韻の中、ショパンの名曲をお聴きください。

城村 奈都子 (助手・セバスチャン)

武庫川女子大学音楽学部卒業後、同大学専攻科修了。兵庫教育大学大学院修士課程修了。丹波の森国際音楽祭“シューベルティアータンバ”には毎年出演し2015年度シンボルアーティストを務めるなど、主に伴奏室内楽の分野で活躍。絵本オペラカンパニー“おぺろん”のメンバーとして各地の小学校幼稚園などでアウトリーチ公演にも力を注いでいる。現在、武庫川女子大学音楽学部伴奏助手、同大学附属中高非常勤講師。関西フィル合唱団、大阪バッハ合唱団、西宮中央合唱団伴奏ピアニスト。



村山 裕希 (音楽探偵バッハ)

学生時代に、公演芸術集団dracom (ドラカン)の前身となる劇団ドラマティック・カンパニー結成に参加。以来、俳優として集団の作品に出演。これまでにフェスティバル/トーキョーやKYOTO EXPERIMENTなど、国際的なアートフェスティバルに参加。サウンド・ライブ・トーキョーではカナダのカンパニーとコラボレーションで作品づくりを行なった。また2017年にはドイツにて初の海外公演も経験。客演としては、桃園会『のにさくはな』、baghdad café『キンセアニューラ』、遊劇体 #58『鳥笛』『公孫樹下』、能×現代演劇#03『韋駄天』、演劇EXPO2018などに出演。